

2018年度 第15回ジェンダー史学会年次大会

●日時：2018年12月16日（日）10:00～17:30

●場所：東京外国語大学 研究講義棟

総会・シンポジウム：115 教室

自由論題会場：111、112、105、106 教室

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

最寄駅：西武多摩川線「多磨駅」下車徒歩5分、または京王線「飛田給駅」北口より京王バス「多磨駅」行きにて約

10分「東京外国語大学前」下車

キャンパスマップアクセス

* 託児について

府中市内の一時預かりサービス実施施設一覧

ご利用は各施設へお問い合わせください。

ジェンダー史学会からは利用料の半額を補助いたします。ご利用後に領収書等を添えて大会実行委員会

(gha2018official@gmail.com) までお申し込みください。

●タイムスケジュール

受付開始 9:30～

自由論題発表 10:00～12:15

総会 12:30～13:15

シンポジウム 13:30～17:30

茶話会 18:00～19:00

●大会参加費：会員 1,000 円、非会員 1,500 円、院生 500 円、学部生無料

茶話会参加費 1,000 円

自由論題

部会 A 司会：田丸理砂（フェリス女学院大学）

10:00—10:30

◆洲崎圭子（お茶の水女子大学）

『ドン・キホーテ』の思い姫像を解く

10:35—11:05

◆貝原伴寛（東京大学）

18世紀初頭のフランス演劇に見るジェンダーと感情—『イネス・ド・カストロ』を手がかりに—

11:10—11:40

◆アリフィア・マシタ・デウィ（奈良女子大学）

『ジャワ・パル』の中の女性像—インドネシア女性の二つのイメージ—

11:45—12:15

◆クローデル・ソフィー（法政大学）

山田詠美の初期作品におけるジェンダーとエスニシティのインターセクショナリティ

部会 B 司会：吉良智子（日本学術振興会特別研究員）

10:00—10:30

◆高屋安優美（神戸大学）

旧杉山家住宅の廻り階段と書齋に関する考察—ジェンダー視点からみる歌人・石上露子 の創作空間—

10:35—11:05

◆片桐真佐子（奈良女子大学）

1950年の「アメリカ博覧会」—「ほんまもん」の‘洋風’がやってきた—

11:10—11:40

◆酒井晃（関東学院大学）

戦争認識と「男らしさ」の戦後史—1945～1960年代における男性間の性愛を中心に—

11:45—12:15

◆杉本和子（大阪府立大学）

戦後日本映画『青い山脈』（1957年版と1975年版）における「女教師」像分析からの考察—『ジェンダー史学 13』掲載論文「『青い山脈』的なるものゆくえ」（千葉2017）と比較して—

部会 C 司会：松原宏之（立教大学）

10:00—10:30

◆富田裕子（長野県立大学）

イギリス女性参政権運動が日本の女性運動に与えた影響

10:35—11:05

◆浅井理恵子（國學院大學）

冷戦初期の米軍におけるジェンダー秩序の揺らぎ—国防次官補アナ・ローゼンバーグの職務内容を手がかりに—

11:10—11:40

◆佐々木啓子（電気通信大学）

情報・通信技術の発達とジェンダー—女性の働き方を中心として—

11:45—12:15

◆柳原恵（日本学術振興会特別研究員 PD）

チリ先住民族マプーチェ女性の歴史と現在—マプーチェ・フェミニズムの可能性—

部会 D

10:00—10:30

個人報告 司会：京樂真帆子（滋賀県立大学）

◆今井小の実（関西学院大学）

愛国婦人会と山口県社会事業

10:40—11:40

パネル報告

十五年戦争期の慰問活動—子ども、女学生、そして婦人会による「兵士」の創出—

森理恵（日本女子大学） 司会者およびディスカッサント

池川玲子（大阪経済法科大学）

藤木直実（日本女子大学）

山崎明子（奈良女子大学）